

2022.07.10

福岡37会、

①福岡県宇美町・井野山236Mのタシロラン

②太宰府市・四王寺山(しおうじやま)410M山麓のカリガネソウ

③大宰府政庁跡のコウホネ

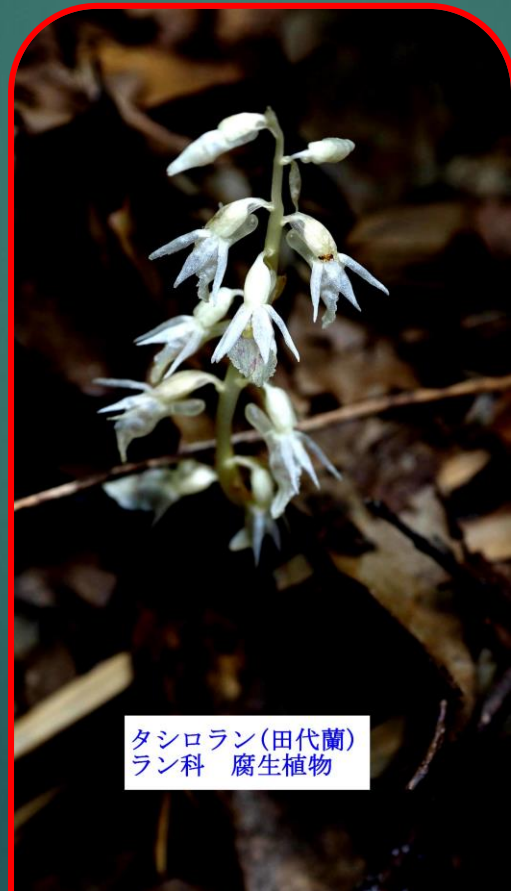
2022/07/10 12:57
太宰府天満宮



四王寺山(しおうじやま)410m



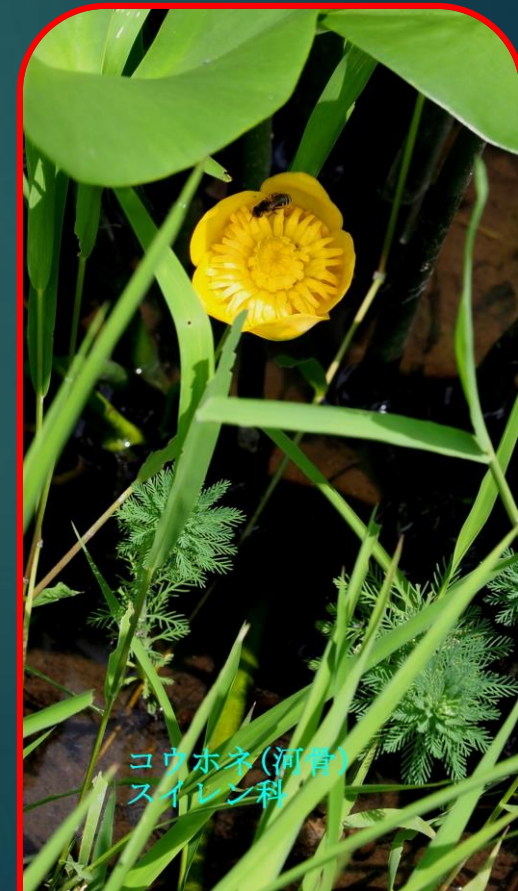
2022/07/10 13:57
大宰府政庁跡



タシロラン(田代蘭)
ラン科 腐生植物



カリガネソウ(雁草、雁金草)
シソ科
別名:ホカケソウ(帆掛草)



コウホネ(河骨)
スイレン科

①福岡県宇美町・井野山236mの
タシロラン



2022/07/10 10:48
井野公園



2022/07/10 10:49
八幡産宮



2022/07/10 10:49

井野山からやま（唐山城跡）

ここ井野山には、唐山城という戦国時代のお城がありました。唐山城は、井野山（標高236m）に東城跡、ここから西に約700m離れた大野城市内のところに西城跡があります。東城は、頂上が主郭と考えられており、山頂付近や登山道途中の北側斜面に、豎掘や堀切が残っています。

唐山城は、豊後国（現在の大分県）を中心に、当時、北部九州を支配していた戦国大名である大友氏の記録に登場し、「賀良山城」や「嘉良山城」とも記述されています。

築城主ですが、大友氏方の記録『豊前覚書』では、永禄11年（1568）にははこさきくさずりんせい おおともそうりん 管崎宮座主麟清（大友宗麟の従兄弟）が、岩屋城のたかはしあきたね 高橋鑑種の軍勢に備えるため、城を築城したとあります。

しかし、江戸時代の記録である『筑前町村書上帳』所収「宇美八幡宮大宮司ちくぜんちょうそんかきあげちよう 神武氏由緒書」には、宇美八幡宮大宮司の神武秀宗が、天正2年（1574）に築城し、普段は、安河内備前と桜木主水さくらぎもんどの両人を物頭とし、従者数百人が詰めていたことが記されています。また、別の古文書には、神武秀宗の先代である神武秀良ひでよしが築城したとも記述されています。この他の『筑前国続風土記』や『筑前国続風土記拾遺』にも、時の宇美八幡宮大宮司の神武氏の居城であったと記述されています。いずれにしても、江戸時代の記録では、宇美八幡宮大宮司を務めた神武氏の居城であったとされています。

唐山城が、管崎宮座主か宇美宮大宮司か、どちらが最初に城として構築したのかは文献によって異なっていますが、双方とも大友氏に属していますので、大友氏方の城であったといえるでしょう。

頂上からは、360度パノラマの景色を楽しむことができます。

戦国時代も、ここからはたかとりいじょう 高鳥居城・たちばなやまじょう 立花山城や福岡平野も一望できるなど、城を結ぶ要衝にあった点、さらには交通の要衝である峠を抑えていた点などから、重要な城であったと考えられます。

井野山からの展望



頂上の少し下に、五穀神が祀られています（写真下）。

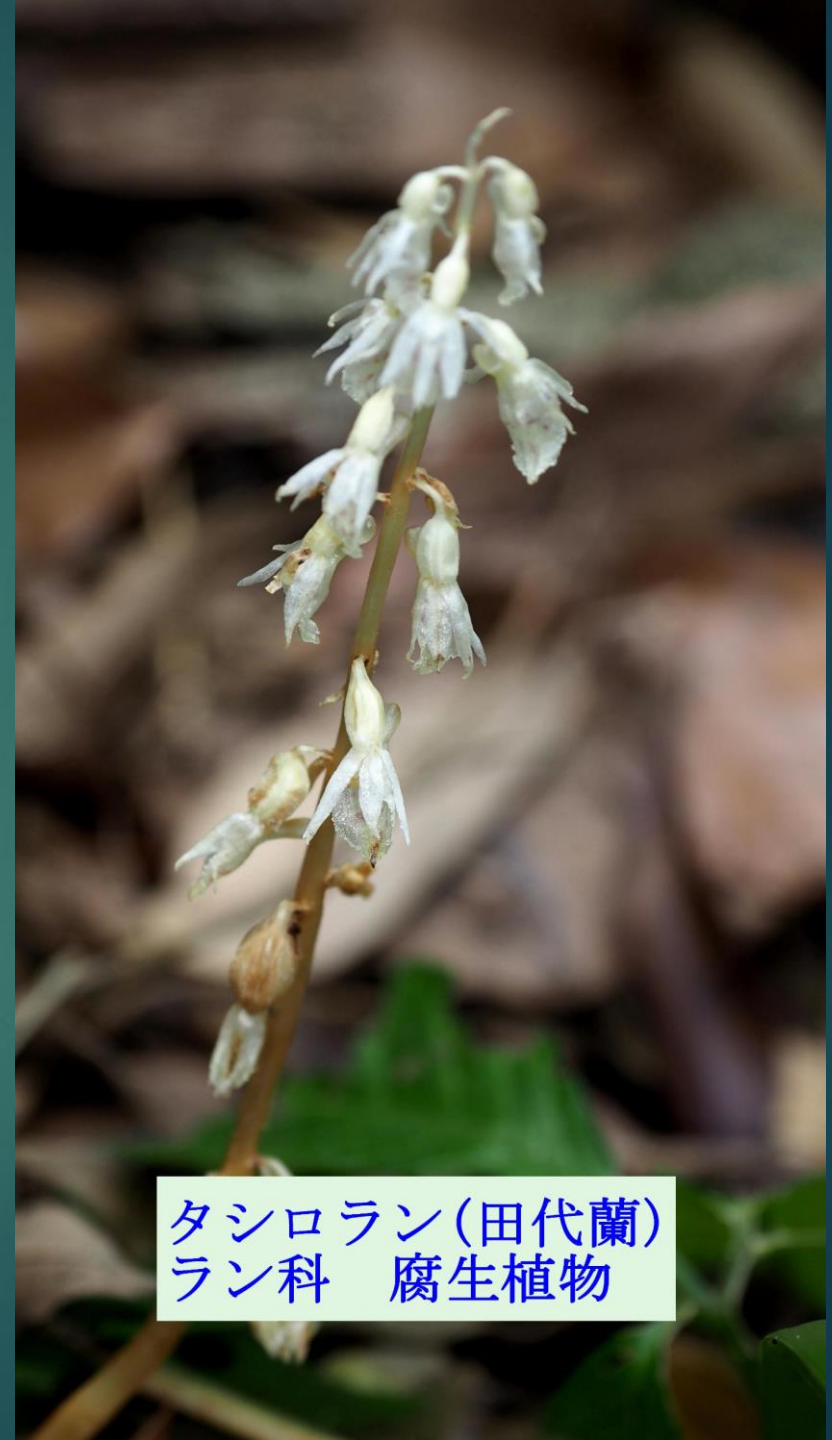
米・麦・粟・豆・キビのことを五穀といい、これらの食物に関する神様です。今も、井野区の方々によって、大切に守り伝えられています。



令和3年作成

【お問い合わせ】


- 文章について
宇美町教育委員会 社会教育課
TEL 933-2600
- 看板について
宇美町役場 まちづくり課
TEL 934-2370



タシロラン(田代蘭)
ラン科 腐生植物



2022/07/10 11:34
井野公園に戻る
50分の行動時間



タシロラン(田代蘭)
ラン科 腐生植物

太宰府天満宮をって、
昼食会場の小山田茶店へ

2022/07/10 12:17



2022/07/10 12:14
太宰府天満宮



2022/07/10 12:15
太宰府天満宮



2022/07/10 12:18
小山田 (おやまだ) 茶店



小山田茶店

2022/07/10
12:37
親子丼650円





2022/07/10 13:17



アメリカイヌホオズキ
(亜米利加犬酸漿)
ナス科



カリガネソウ (雁草、雁金草)
シソ科
別名：ホカケソウ (帆掛草)



カリガネソウ (雁草、雁金草)
シソ科
別名：ホカケソウ (帆掛草)



カリガネソウ (雁草、雁金草)
シソ科
別名：ホカケソウ (帆掛草)



サフランモドキ
(サフラン擬)
ヒガンバナ科



不明



2022/07/10
13:41

坂本八幡宮



2022/07/10 13:42
坂本八幡宮



2022/07/10 13:51
坂本八幡宮

③大宰府政庁跡のコウホネ

四王寺山(しおうじやま)410m

2022/07/10 13:57
大宰府政庁跡



カキツバタ (杜若)
アヤメ科



コウホネ (河骨)
スイレン科



ネズミモチ (鼠薊)
モクセイ科